



上島町

# 議会だより

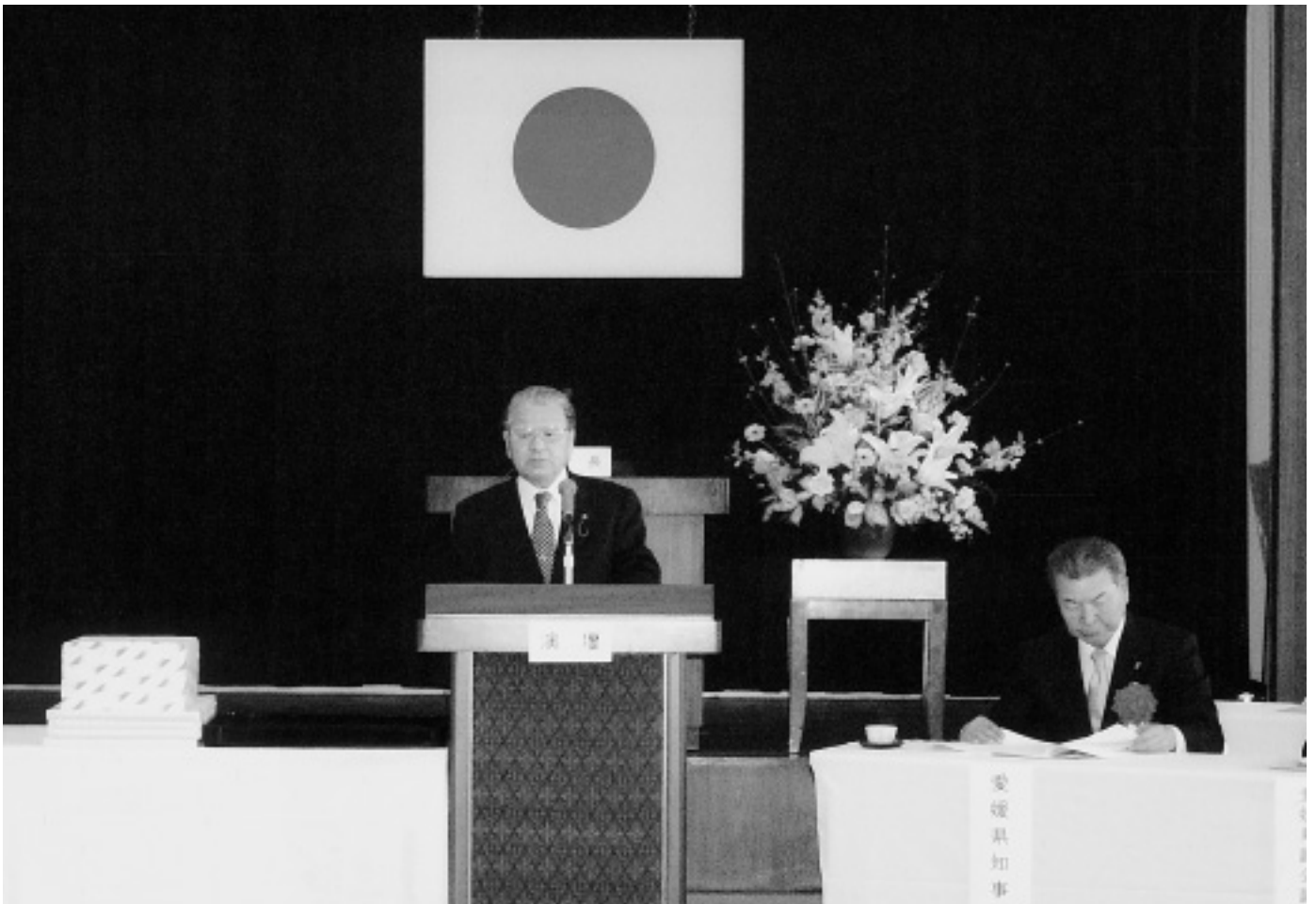
No. 7

2007年4月

編集 上島町議会広報編集委員会

発行 上島町議会

〒794-2592 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地 TEL 0897-77-2500



## 愛媛県町村議会議長会第58回定期総会

2月23日(金) 松山市 於 水産会館 (写真は挨拶する田窪会長)

### 主な内容

- 一般質問 ..... 2~4 P
- 自治功労者表彰 ..... 5 P
- 議会の活動 ..... 6 P

一般質問

12月18日に開催された第4回定例会においては、6名の議員が一般質問を行いました。

質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的に質問議員が編集しています。)

濱田勝祐議員



新成人に対して待遇を再考出来ないか

Q 上島町の成人式は

三島輪番制で行われている為、船で送迎をしますが、有料である為、苦情がある。せめて成人者は一生に一度の晴れ姿です。町を上げて心から祝つて上げたい。その為にも運賃位は無料にしていただき、成人式の想い出として汚点を付けない様要望したい。

A (林教育長)

特に昼間は船の定期が少ないので海上タクシーの手配をさせていたのですが、費用については受益者負担をお願いする事を説明させて頂きました。次回で3回目、ひと回りするので開催場所、費用負担につきましても再検討すべきと考えています。

Q 親も我が子の晴れ姿を見て感激しているところに、送迎が有料で、わずかな事ですが水を差す事になる。産業まつり、その他は無料で送迎している様だ

が、納得出来ない「故里は遠きにありて思うもの」と言う詩があります。誰にとつても故里はよいものです。故里での成人式に汚点を残さない様、周りが気を遣い、若者を育てる事が大切だと思う。

敬老祝金は復活出来ないか

を機に高齢者福祉関連単独事業の見直しを行い、合併協におきまして、支給廃止とする事を確認されており、現時点では財政事情も考慮して支給再開は適正でないと思われる。記念品については今後とも協議、検討をしたい。

Q つえの一本でも、

元気で上島町の為に頑張ったお礼にいただきたいと喜んでいただき町側の気持ちをくんでいただけるのではないかとお年寄りを大切にする町は必ず繁栄します。気持ちのある敬老会を期待したい。

かつて旧町村では敬老会当日、わずかながら支給されていたが、今は廃止となり会員の楽しみもなくなりつつあります。現存会員は1,500名余りですが年々増加する事は判っています。戦中戦後と苦しい時代である中、今我々が何不自由なく生活が出来るのもその人々の努力と苦労のお陰だと申し上げても過言ではないと思います。努力と苦労の証として、祝金が無理であれば記念品は考えられないか。

猪被害への町の取り組みをたずねる



土居計彦議員

Q 桜は上島町におい

町花の桜を助けよう

最近、弓削地区では猪による農作物の被害が発生して困っている。上弓削区だけでも20件にのぼる。丹精込めた農作物を食い荒らされるのは辛い。放置すれば就農気力を低下させ、しいては放置畑の進行を早めることにもなる。畑と山の境の藪を伐採して境界線を設けると効果があると聞いている。町としても対策を研究していると思うが、今後どのように取り組むか。

A (村上産業振興課長) 10月に沢津地区林道にくりり罾を設置したが捕獲できずに撤去した。今治市の猟友会に来島してもらったための予算を12月補正に計上した。くりり罾は今購入しているの、継続的に設置して猪の捕獲をめぐりたい。

A (濱中産業建設課長) ご指摘のとおり三石林道沿いの桜の木が蔭に巻かれたり、雑木の陰になつたりして成長を妨げている。地元の先人達が植えられ、大切にしてきた桜を後世に引継ぐために、地区の奉仕活動等で今後も取り組んでいただきたい。現在実施している「三石林道草刈業務」の範囲内で対応するよう検討したい。



### 防災訓練は住民とともに

Q 上島町では、11月19日に近い将来、発生するといわれる、南海・東南海地震に備えて自分の命は自分で守る事をモットーに、防災意識をもっていただく上島町総合防災訓練を、上島町内一円で実施予定でしたが、当日町内放送で中止が報告されましたが主催者と住民との温度差が感じられますが、この計画の中で、どんなことが教訓として得ることが出来ましたか。

A (上村町長)

一週間前から当日は雨であろう長期予報でした。それに対して、担

当に中止になった場合の行動、連絡体制の指示を出していましたが、中止事項の統制がしっかり出来ていなかった点が反省事項であると考えています。

A (宮川消防長)

今回の防災訓練を計画する過程で各地区の役員と一緒に防災対策等を考える機会が持て、住民一人ひとりの防災意識は確実に高まっています。

### 継続的な野良猫・犬対策計画を急げ

Q 生名地区で11月29日に自転車で行中の女性が足を野犬に噛み付かれる事態が発生しました。行政と地域の人が知恵を出しながら野犬対策の計画を立てることが求められています。理事者の答弁を求めます。

A (上村町長)

行政側が対策を実行しても、地域住民の協力が無ければ効果が少な

いと考えております。

A (柏原生名総合支所長)

野犬を増やす要因を元から断つため、「捨てない、離さない、迷惑をかけない」という飼い犬の三不運動などの意識啓発活動を続けております。現在は、捕獲箱を用いた捕獲を継続しております。しかし、野犬に餌を与え、繁殖環境を助長し逆の意識を持った人もおられるため思う効果が上がりません。今後も捕獲箱の設置箇所を増やし、犬を捨てない、野犬に餌を与えないといった基本的な意識を植え付けていくため、自治会とも話し合い、地域の皆さんの協力を得て、粘り強く対応していきたいと考えています。



### 耕作放棄地の増大に伴う施策について

Q 高齢化と後継者不足で佐島の南半分、岩城の赤穂根全島本島も含め広大な荒廃地が駆け足で進行している。個人の所有地であつても町の財産を有効利用しないと町興しも出来ない。農業者が居ないならホームページで全国発信し、U・Iターンを含め新規の農業参入を募集すべきでは？瀬戸内海国立公園の環境のよい暖かい島への受け皿作りに、農地や借家の斡旋等を農安会、農試場長、普及所等の協力を得て実行可能な具体的段取りを議論集約し産業課、農業委員

会へ諮問具体化する考えはないかお尋ねしたいと思います。

A (村上産業振興課長)

上島町の耕作放棄地は増加している。定住希望の受け入れ体制、環境づくり農地、借家の斡旋等へ農業振興基本計画を12月補正で計上し実施計画をしますので協力をお願いします。

### 行財政機構での職員の自発的提言について

Q 合併後2年を経過した。政府は合併後5年間は交付税を減さないと約束したのに年々億単位で減らされている。厳しい財政状況の中で町長も職員も住民サービス機関として住民ニーズの反映と上島町の将来展望について我々議員を含め今こそ数多くの職員の自発的能力を発展提言へ積極的にやるべき時だと思

いるのか？その為には職員が地に付いた不安のない活動が出来る様な身分保障はされているか、県下で町給与のラスパイラスはいくらか？聞く。

A (上村町長)

管理職以外の若手の提言が直接届く恒常的なプロジェクトチームの編成も必要ではないかと考えております。受け入れ準備は出来ているということもお答えをさせていただいたとおりでありまして、今の内容で頑張っていたとだけということもございます。職員も危機感を持って仕事をすべきであると思っております。

A (山下総務課長)

職員の提言の件につきましては平成17年12月6日、16日まで提案制度を実施し、多くの提案書を頂きました。毎月幹部会、全体課長会でも協議し対応可能なものから随時実施し



ています。ラスパイラスは県下最低の80.1%

## 平山和昭議員



### 避難訓練中止にみる担当職員の防災意識について

**Q** 上島町消防本部が町内各自治区に主体的に取り組むよう要請し計画した「町内一斉避難訓練」は、本番当日さしたる悪天候でもないので、訓練実施主体である各自治区に事前相談もなく中止し、さらにその後においても各自治区に説明や今後のことについての連絡相談もなかったことは関係職員の防災意識のレベルを疑わせる出来事であった。このことについての町長の考え

を聞きたい。

#### A (上村町長)

担当職員の防災意識のレベルについては充分でなかったという考えを持っておりませんが、各担当、各担当課を信頼して対応しなければいけないことなので理解頂きたい。

#### A (宮川消防長)

今回の防災訓練中止に際しては、事前事後の連絡体制において不備や至らなかつた点があったことに、私を始め消防本部職員一同反省いたしております。今後は今回の事案を教訓といたしまして、次回訓練に反映させたいと考えていますのでご理解頂きたいと思えます。

### 瀬戸内3商船高専の統合・再編問題にどう立ち向かうのか

**Q** 本年9月22日国立高専機構本部から瀬戸内3商船高専(弓削・広島・大島)は合同で統合再編にむけ検討組

織を立ち上げるよう求められたと聞く。(10月4日後期始業式で副校長が学生に発表)この問題は学校の取り組み方次第では、この地から高専が消えてしまう可能性もあると、私は不安を感じている。

今治市では海事都市構想実現のため様々な取り組みが始められており、弓削商船高専の役割がこの構想にきつちりと組み込まれ、魅力ある教育環境が構築されれば、業界の発展、芸予地域の子弟にとっても極めて望ましいことではないか。町長は学校との協働関係、国、県、今治市に関して、どう対応していくつもりか。

#### A (上村町長)

非公式で仮定に基づいた内容でもありますが、この場での回答は適当ではないと判断いたします。ただし、弓削商船側からは最大限の情報を

頂いておりますし、不安も持ち合わせていないことを報告いたします。

## 森本裕人議員



### 上島町独自の迷惑防止条例の制定について

**Q** 飼い犬等による放し飼いは、幼児等にとって大変危険である。飼いだによる糞が道路や海岸等にあり、又飼い猫、野良猫による尿等の被害も多く地域住民から再三苦情を聞く。又環境美化を推進していく為には、ビン類、缶類、ゴミ類等のポイ捨て禁止の周知徹底、立看板の設置が必要ではないか。各個人のモラルの問題ではあるが、

地域住民が快適に安心して過ごす為には騒音、悪臭等々、他人に迷惑をかける対策として、上島町独自の罰則規定を含めた迷惑防止条例を制定してはどうか。

#### A (町長)

ゴミを捨てないでくださいというような看板の設置については極力少なくして、ポイ捨て条例とか迷惑条例に違反しないような指導をしていくことが適切であると考えております。

#### A (植田生活事業課長)

個人のモラルに負うところが大きく、広報、CATV、ホームページ等へ掲載し周知しているが根本的な解決策とはなっていないのが現状です。県内では、迷惑防止条例を制定しているところが6市町で、そのうち5市町で罰則規定を設けているようです。迷惑がかかるような事例が生じた場合、情報をいただければ地域の皆さんと相談しながら対応いたします。

## “町民の安心と安全”を願って



完成間近の消防庁舎 (3月8日撮影)

# 自治功労者表彰



新川 健 副議長  
(岩城地区)



田窪 忍 議長  
(弓削地区)



岡島 政則 議員  
(弓削地区)



土居 計彦 議員  
(弓削地区)

平成19年2月23日(金) 松山市において、愛媛県町村議会議長会第58回定期総会が開催されました。田窪会長(上島町議会議長)の挨拶の次に、自治功労者として、全国町村議会議長会より、町村議会議員として、30年以上在職し功労のあった者1名及び15年以上在職し功労のあった者6名の表彰伝達がありました。上島町からは、次の4名の方が受賞の栄に浴されました。(順不同)

## 会派

議会内に結成された議員の同志的集合体のことをいう。  
ちなみに上島町議  
在しません。



## 政務調査費

政務調査費は、議員の調査研究における必要な経費の一部として、条例に基づき会派を対象として交付されています。  
新聞、テレビ報道等で不適切な使用が指摘されている政務調査費も上島町議会においては、支給根拠となる条例、予算措置もなく、全く支給はされていません。

## 議長交際費

上島町議会の議長交際費は次のとおり  
の支出状況になっています。  
使途については、香典、寸志、祝電等です。

円	H 17年度	5件	47千
円	H 18年度(2月末)	3件	23千





自治功労者を代表して表彰される新川副議長

## 議会の傍聴について

議会の傍聴はどなたでもできます。

定例議会は3月・6月・9月・12月に開催され、臨時議会は必要な都度開催されます。

なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーに掲載しています。

《上島町ホームページ <http://www.town.kamijima.ehime.jp>》

## 議会の活動（前号掲載分以降）

月	日	活動内容	月	日	活動内容
1	3	平成19年成人式（12名）	3	5	第3回全員協議会（全員）
1	8	平成19年上島町商工会年賀交歓会 （11名）	3	9	第1回定例会（全員）
1	26	第1回全員協議会（全員）	3	14	正副常任委員長、正副議長会 （6名）
1	28	平成19年上島町消防出初式 （14名）	3	15	第1回定例会（再開）
1	31	第1回臨時会（17名）	3	16	上島町立中学校卒業式
		第2回全員協議会（17名）	3	19	第1回定例会（再開）
2	2	上島町少年式（各地区参加15名）	3	22	上島町立小学校卒業式
2	25	平成19年上島町総合防災訓練 （5名）			